

## 令和2年度 第1回日本生理学会教育委員会・エデュケーター認定制度委員会

日時 2020年3月18日（水）10時30分～12時00分  
会場 首都大学東京 荒川キャンパス校舎棟1階182、186号室（一部web会議システム）  
会場出席者 南沢 享（東京慈恵会医大、委員長）、椎橋 実智男（埼玉医大、副委員長）  
安西 尚彦（千葉大）、鯉淵 典之（群馬大）、渋谷まさと（女子栄養短大）  
中島 昭（藤田医科大）、渡邊 マキノ（順天堂大）  
Web出席者 石松 秀（西九州大）、奥村 哲（静岡理工科大）、小山 なつ（滋賀医大）  
曾我部 隆彰（生理研）、小野 富三人（大阪医大、新任）  
下川 哲昭（高崎健康福祉大、新任）、富永恵子（大阪大、新任）  
山口 豪（四国大、新任）  
欠席者 江崎 誠治（大阪大谷大）、岡本 圭一郎（新潟大歯）、河合 佳子（東北医薬大）  
佐藤 麻紀（愛知医大、認定委リエゾン）、田中 美智子（宮崎県立看護大）  
議長 南沢 享 書記 渡邊マキノ

### 議題

#### 【報告事項】

開会に先立ち、南沢委員長より新任委員の紹介が行われた。

1. 前回教育委員会議事録・エデュケーター認定制度委員会議事録について（資料1）  
資料に基づき承認された。
2. 理事会報告（資料2）  
教育委員会・エデュケーター認定制度委員会とも資料に基づき報告された。
3. 次年度からの理事会の運営体制について（資料3）  
資料に基づき確認された。
4. 次年度からの教育委員会について（資料4）  
資料に基づき確認された。開会前に新委員の紹介があった。
5. 第97回大会の集会の中止と誌上開催について  
南沢委員長より報告された。
6. 日誌教育のページの進捗状況について（資料5）
  - 小山委員より資料に基づき進捗状況の報告、次期 Education 執筆者の候補者の推薦があった。第97回大会（別府）Legend 道場2で講演予定だった先生方に執筆依頼する案が提案され、南沢委員長からまず大会長（花田先生、小野先生）に依頼することとなった。

- 椎橋委員より、医学教育学会で Active Learning の教材が作成され、まもなく公開予定であることが紹介され、公開された場合、状況により Education で紹介することが提案された。
- 来年度より Education 担当が河合、渡邊 2 名体制になることから、今後は小山委員からの推薦項目を河合、渡邊で検討し、執筆候補者がいれば河合・渡邊まで連絡することが確認された。
- 石松委員から Education 執筆者にポイントを付与することはできないか提案され、今後、認定制度委員会で検討することとなった。

7. 日本生理学会教育委員会内規案について (資料 6)

資料に基づき確認された。教育委員会では承諾済みであり、理事会で承認予定であることが確認された。

8. 日本生理学会定款への「教育」の追加について (資料 7)

理事長・副理事長会議からの意見を取り入れた案 (資料アンダーライン) を確認した。理事会で承認予定であることが確認された。

9. 生理学エデュケーター認定制度に関わる認定試験について (資料 8)

認定試験の代わりに面接を行うことが承認された。

10. 「生理学用語集」の進捗状況について

鯉淵委員より候補の用語の選択が終了し、最終的に 4000~4500 語をピックアップする予定で作業が進んでいることが報告された。その後、教育委員会の委員への用語集執筆依頼が届くと思われる。本件への協力要請があった。

**【審議事項】**

11. 教育プログラムの受講ポイントについて (資料 9)

- 第 97 回日本生理学会大会が誌上開催となったことによる、教育プログラムの受講ポイントの取り扱いについて、椎橋委員より資料 9-1 に基づき報告された。資料 9-1 の内容は理事長・副理事長会議では承認されており、理事会に提案することとなった。
- 資料 9-1 の項目 4 (第 98 回大会の教育プログラムでは通常大会よりやや多くのポイントが取得できるようにする) について、中島委員より 1 講演あたりのポイントを増やすことは危惧しており (1 回の大会で 15 ポイント取得できることは、制度的に良いのか?)、教育講演数を増やすことができるのか質問があった。
- 椎橋、鯉淵委員より、WS までフルに参加すると 15 ポイントになるが、WS の参加者はそれほど多くなく、15 ポイントフルに取得できる人は少ないと予想されるので、問題はないのではないかとの意見があった。
- 鯉淵委員より、エデュケーター認定期間を 1 年延長するのであれば、第 98 回大会の受講ポイントを倍にする必要は必要ない。解剖学会と教育プログラムのすり合わせをしてから検討するとの意見があった。

- 石松委員より、WSは本大会とは別枠とすることが提案された。
- 中島委員より、現在3ポイントしか保有しない会員が12ポイント取る予定で7月に申請するのを認めるのか（3ポイントでエデュケーターの質を担保できるのか）との質問があった。審議の結果、今回は特別な事態なので、救済措置で対応することとなった。

12. 問合せメールに対する対応について（資料9-2）

①認定証に有効期限が記載されており、更新申請の告知もしているので規定通り、②少し甘くして、救済措置を講じるという2案が提示されたが、審議の結果、新規申請を依頼し、例外は作らず、規約通りに対応することが確認された。

13. 第5回医学生生理学クイズ大会（東京医科歯科大学）について（資料10）

資料に基づき内容を確認した。COVID-19の関係で実行可能かまだ不明である。教育委員会からの派遣委員については4月中旬にメールで検討することとなった。

14. その他

- 南沢委員より、e-Learning（過去の教育講演などのビデオなどを見るなど）で受講ポイントを付与することの検討について提案がされた。コンテンツを作ること、マネジメント・維持が大変であり、誰がやるのか、手間や苦勞を考えなければe-Learningを行うことも検討すべきとの意見が上がった。今後、将来構想として検討していくこととした。
- 教育委員会で作成するコンテンツとしては、次はデジタルコンテンツ（実習書、MCQなど）が考えられる。
- 第98回大会の教育プログラムについて：解剖学会との合同開催となるため、解剖学会・生理学会の教育委員会で検討し、演者は半々とする事が確認された。

15. 次回教育委員会の開催について

8月30日（日）開催予定

今年度で退任する小山、渋谷委員からコメントをいただき、閉会となった（11:50）。